

科目名	現代ファイナンス論Ⅰ	科目分類	■専門科目群（第1グループ） □総合科目群（第2グループ）	
			経済学科	□必修 ■選択
			学科	□必修 □選択
英文表記	Theory of Modern FinanceⅠ	開講年次	□1年■2年 □3年 □4年	
ふりがな	やまもと しゅん	開講期間	■前期□後期 □通年 □集中	
担当者名	山本 俊	修得単位	2単位	
授業のテーマ	金融の基礎理論と金融論の視点を学ぶ。			
授業概要	この授業では主に金融の仕組み、基本ツール、金融市場、リスクの基本を学習する。つまり、各論を学ぶ「現代ファイナンス論Ⅱ」や「金融機関論」の基礎科目として位置付けることができる。			
到達目標	ファイナンスの基本を身につけ、現実の金融取引の仕組みや金融の基礎理論を理解できるようになること。ファイナンスの主体的学習を可能にすること。			
授業時間外の学習	定期的に確認問題を配布するので、解答した後に提出して欲しい。			
履修条件	ミクロ経済学Ⅰ・Ⅱとマクロ経済学Ⅰ・Ⅱを履修済みか、または同時履修して欲しい。			
授業計画 講義資料と教科書を併用して授業を進める。				
第1回	テーマ：金融の仕組み① 金融の主体と資金循環、金融の方式と機能			
第2回	テーマ：金融の仕組み② 金融仲介と金融機関、貨幣の機能			
第3回	テーマ：金融の基本的な考え方① 利子率（名目・実質）、フィッシャー仮説			
第4回	テーマ：金融の基本的な考え方② 貨幣の時間価値、2つの投資の評価方法の基礎			
第5回	テーマ：金融の基本的な考え方③ 割引債の利回りと価格			
第6回	テーマ：金融の基本的な考え方④ 利付債の利回りと価格			
第7回	テーマ：金融の基本的な考え方⑤ 金利の期間構造理論の考え方			
第8回	テーマ：金融の基本的な考え方⑥ 金利の期間構造理論とイールドカーブ			
第9回	テーマ：金融の基本的な考え方⑦ 株価の決定理論			
第10回	テーマ：金融の基本的な考え方⑧ 配当割引モデルと株価管理			
第11回	テーマ：企業金融の基本① 企業の投資行動			
第12回	テーマ：企業金融の基本② MM理論の考え方			
第13回	テーマ：企業金融の基本③ 資本市場の不完全性とMM理論			
第14回	テーマ：リスクの基本① 期待収益率と標準偏差			
第15回	テーマ：リスクの基本② ポートフォリオと相関係数			
第16回	定期試験			
テキスト	晝間文彦『基礎コース金融論』（第3版）、2011年（金融機関論と同じテキストです。）			
参考文献・資料	ボディ・マートン『現代ファイナンス論』（原著第2版）ピアソン桐原、2011年（著者はノーベル賞受賞者）			
成績評価の方法	期末試験60%、課題30%、コメントシート10%の合計を基に評価する。 確認問題を配布する。受講者は自らの理解度を確認するためにも必ず解答すること。 試験については努力が報われるような出題を心がける。			
成績評価基準	【平成27年度（2015）以前に入学した学生】 優(100～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) 【平成28年度（2016）以降入学した学生】 秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下) ※出席回数が規定に満たない場合、試験を受けることができません。			

オフィスアワー	月・水・金曜日の5限をオフィスアワーとする。ただし、研究室に在室中は原則として質問に応じる。
学生への メッセージ	どのような分野で活躍するにも金融の基本事項は必須であるので、多くの受講者を歓迎する。この授業では、新しい知識を習得すること以上に、考えるプロセスを重視する。